

## 徳島県環境審議会環境政策部会 会議録

### 1 日 時

平成25年9月17日（火）午後1時30分から午後3時まで

### 2 場 所

徳島県庁10階 大会議室

### 3 出席者

<委員>委員19名中13名出席

（1号委員：環境の保全に関し学識経験のある者、五十音順、敬称略）

近藤光男委員（部会長）、喜多三佳委員、塩本泰久委員、谷口順一委員、  
田淵桂子委員、津川なち子委員、唐渡義伯委員、中央子委員、  
長尾文明委員、藤田晶子委員、本仲純子委員

（2号委員：市町村長又はその指名する職員、五十音順、敬称略）

西岡幸美委員、榊藤敏子委員

<事務局>

福井県民環境部長（開会挨拶）、市原環境首都課長、  
上岡自然エネルギー推進担当室長 ほか

### ○会議次第

1 開会

2 議事

徳島県環境基本計画のあり方について

○中間とりまとめ案について

○その他

3 閉会

### ○配布資料

資料1 新たな徳島県環境基本計画のこれまでの検討経過

資料2 環境政策部会環境基本計画小委員会の開催概要

資料3 県民等の皆様からの意見について

資料4 目標指標について（案）

資料5 計画の概要（案）

資料6 第2次徳島県環境基本計画（中間とりまとめ案）

資料7 パブリックコメントの実施について（案）

参考資料1 徳島県環境審議会総会（H24.12.21）会議録

参考資料2 徳島県環境審議会環境政策部会（H24.12.21）会議録

## ○議事内容

### (事務局)

出席委員が13名で、委員数19名の過半数を超え、審議会運営規程の規定により会議が成立していることの報告。また、審議の公開及び会議録のホームページ公開についても連絡。

### (福井県民環境部長)

あいさつ

### (事務局)

配布資料確認

### (部会長)

議題説明

### (部会長)

それでは、事務局から説明をお願いします。

### (事務局)

会議資料1～4の説明

### (事務局)

会議資料5～6の説明

### (部会長)

ありがとうございました。それでは、みなさんのご意見をいただきたいと思えます。今回の会議の位置づけは、中間とりまとめをして充実した計画を作りたいということで、忌憚のない意見をいただいて次に活かしていきたいという趣旨であります。よろしくをお願いします。

前回の計画を大きくリニューアルし、小委員会でもいろいろ議論をしました。事務局からも説明がありましたが、基本というところに力点をおいて、1つは個別の指標の目標を今回は辞めることとし、ただし主な指標は作ることにします。大きな理由は、環境の方向性、方針を示したのが基本計画であります。もう1つの理由は個別計画は指標がたくさんありまして、各目標値が示されており、ここに書くとオーバーラップしてしまう。それを一括してここに入れてしまうとかなり無理があります。基本計画という性格を全面的に出すということで説明がありました。コンセプトとか重点施策、とにかく腰の座った計画作りをしようと、そういう基本的な考えでやっていきたいと思えます。

### (委員)

今回は計画の基本目標、5年間の取組目標ということで、13～15ページの基本目標というのがあって、それを具体化していくための主要取組の展開ということで、第3章に繋がっていくということですよね。なかなか読み取りにくいのは、5年間の取組目標のところ、「ライフスタイルの転換による『スマート社会とくしま』を構築」とあって、その下に2項目ありますよね。その下に枠囲みで同じような項目がダブってきているのです。これは上の二つを主にやって、後は余力があったらやりますよとか、こういうこともしますよということなのだろうと思うのですが、この項目を入れる意味がどこにあるのだろうか、すごく読みにくいです。具体的にどういうことをやっていきますというのが、項目もいっぱいあってわかりづらいです。その中から2項目取り上げている意味なのだろうと、主にこれを進めることなのかなと読んだのですが、この意味はどういったことですか。

### (事務局)

おっしゃるとおり、欄外と番号をふってあるところと内容がダブっているところもあります。作った意図は、まず目標があって、その次に5年間でこれをするということで番号をふってある項目を作りました。さらに欲を出して、できるだけ県民の方にわかりやすくした方が良いのかなということで、その中でもこれまでになかった視点みたいな、一言で言えばみたいな感じで作れたら良いなと思ったのが四角の部分です。確かにダブっているからわかりにくいと改めて言われるとそうかも知れません。わかりにくいようでしたら、四角の部分を取ってしまうというのも良いのかなと思います。

### (委員)

第3章、主要取組の展開について、自分たちがどんな取組をしていくのかということが県民の人が読むときにわかりにくいです。もう少し整理ができるような気がします。

### (委員)

呼びかられる側になったら5年間は非常に早いです。どういように呼びかけをしていくのか。効果を上げるには、もう少しスピードアップをしないといけないですね。呼びかけられる方にしたら、県民が急いで生活を見直していかないというがあるので、難しい言葉で呼びかけず、保全とかイノベーションでなくて、これをこうするというような簡単明瞭なもので呼びかけてくださると、若い人もお年よりも行動に即移せるんじゃないでしょうか。会議を進めていく、学習を進めていく時間はないと思うのです。5年間で目標達成に持っていこうと思ったら、事業者さんは難しい会議を重ねていってくれたらと思いますが、県民はそう会議というのはないので、呼びかけをより簡単にスピーディーにわかりやすくという希望をします。

### (部会長)

5年間は早いので県民にできるだけ早めに認識してもらいたいという基本的なところを、どのように表現したら良いかというところであります。

### (事務局)

5年間は確かに短い期間です。最初はいろんな意見をいただいた上に、個人的にはコンセプトのところスピーディーという言葉を入れようと思ったぐらいですけど、あまりにも行政的な感じになってしまうので、ちょっと今回の素案からは除いたという所もあります。おっしゃるとおり、環境分野は県民の方々の活動がないとなかなか進まない分野と思っています。そこで県民の方々に呼びかけて行動していただくには、できるだけ簡単な内容でということなんです。かたやイノベーションとか使わせてもらったのは、「おや」と思ってもらえるキャッチさもあるのかなと、あえて案としては使わせていただいています。いろいろな所の県民、会議の呼びかけをしていく上では簡単にスピーディーに呼びかけていくのが一番肝要かと思います。わかりやすい呼びかけの仕方、取組もあまり複雑にならないような施策に気をつけていくべきかなと考えます。ただ文章的に残す中で、あえてイノベーションとか環境バリアという言い方は、逆に目を止めていただけるかなという意味合いもあってあえてこういう言葉を使わせていただきました。

### (委員)

今の言葉の連続したところで考え直してみると、基本計画で1つは大きな環境ですので日本の動きがありますよね。その中で日本の動きに準じていくものが1つあって、その中で徳島独自のものがありますよね。その中で、先程の主要な取組の中でもう少し強調してほしいことが1つあります。強調してほしいのは、基本計画ですので、ザックリのところの話になると思いますが、第3章のところにある、これがザックリ大きく言っている訳ですよ。これは5年計画、10年計画、20年計画でも、この言葉はずっと生きてくる、将来を見通した言葉だと思います。その中で5年計画ですので、どこで5年計画に落としやるかっていうと、基本計画の概要のところ1回落としてやる必要があるのでないかと思います。具体的な数値は、個々の手順書なり規範なりがあるのでしょうが、そちらの方にいきなりふるのではなく、ここでふってあげる必要があるのではないのでしょうか。先程言ったように、枠囲みのところでは具体的なものを出してあげる必要がある。そうしないと県民にわかりにくいではないのでしょうか。抽象的な言葉ばかりでずっと持つていくのではなく、どこかで早めに具体的なところを示してあげた方がわかりやすいように思います。

### (部会長)

私も関連して言いたいことがあります。5年後のゴールがどうなっているのが大事だと思っています。これはプロセスを書いているような印象です。推進しますとか促進しますとかは、おっしゃられたように5年でも10年でも使え

る。5年というところが見えてきたらわかりやすいかなと思います。委員と同じ意見です。

#### (事務局)

表記はできるだけ5年の目標になれるような形にしたつもりだったのですが、まだちょっと書きようが足りないところがあると思いますので、できるだけ目標としてわかりやすいような書き方に努めていきたいと思います。たちまち修正できるかどうかはあるのですが、最終とりまとめまでには、もう少し目標という形にできるようにバージョンアップしていきたいと思います。

#### (部会長)

すごく綺麗にさせていただいたのですが、意見が出たので、ついでに言わせていただきました。非常に難しい注文をしました。5年後の姿をわかるように書いて下さいと。できるだけ県民にメッセージを送るという高いレベルで言っています。すみません。

#### (事務局)

言い訳がましくなってしまうのですが、いろいろ出させていただいた中で1回答えをキッチリだすものと、環境分野というものはもう少し先を見てまず5年間でこういった体制作りをしますよとか、ここまでやりますよとか、そんなものも混ざっていると思うので、そこを全部5年間でこれというふうになると書ききれない部分もどうしてもあるかもわかりません。ただおっしゃるようになれるだけ県民の方にわかりやすい形でというのが事務局としても考えていますので、その部分についてはできるだけ目標になれるように、さらに内容を詰めていきたいと思います。

#### (委員)

環境というのは非常に大きい問題ですので持て余しぎみです。なかなか、捉えどころがなく、何でも優しく言えば環境になってしまうので、その時にどこかでぶつ切りにしてあげる必要があると思います。なかなか、目標までといったら私も厳しいところがあると思いますので、そこまでの話は出せないですが、出し方としてどこかで柔らかい概要的な言葉から、もう一度ぶつ切りにしてデジタルにしてわかりやすい言葉で置き直して、そうしてこれはこう進めていきますよと、それがもう一度合わされば、環境という結果ですよと、どこかで早めにデジタル化してあげる必要があると思います。そういう試みをしてもらうのがわかりやすい、伝えやすい表現かなという気がします。表現だけにこだわって話しをしました。

#### (委員)

自然エネルギーという言葉はたくさん出てきていますが、その中に太陽光発電、LED、メガソーラーとか電気関係に関する文字はたくさん見ますが、水

についての表示がほとんどないように思います。徳島県は吉野川という豊富な水がありますし、まして雨水という利用の方法もあるのですが、ちょっとここに水のことについても入れてほしいなと思うのですがいかがでしょうか。

#### (事務局)

水の部分については2つあると思います。今おっしゃった雨水利用とかいろいろな形での節水とか、そういう活用になると思うんですけど、エネルギーというのがピッタリくるかどうかは別といたしまして、後の3章「好循環社会とくしま」のところの水利用という部分で書かしてはいただいています。ただエネルギーの部分になるかは別として、前の方に代表的な事例を引っ張ってくるような形もあろうかと思えます。確かに水の活用というのは大事なことだろうと思えます。これから世界的に水不足ということが予想されています。水というのは確かに大事なキーワードだろうと思えますので、エネルギーのところにくるのは、分野分けをもう少し考えてみたいなと思えます。水の部分を、「5年間の取組目標」に引っ張りだしてこようと思えます。確かに、水という部分では足りないような気がします。

#### (部会長)

今の水の話は資料6の33ページあたりにあります。

#### (事務局)

34ページの3-2-1の「②水資源の有効利用・高度利用の促進」ということで、雨水利用とか処理水の中水利用、節水機器などの部分であるとか、工業用水の循環利用や下水処理水の循環利用なんかは入れさせていただいていますので、このあたりを特出しするような形になるのかなと思えます。

#### (委員)

私が今耳で感じた水というのは、飲める水、透明な綺麗な水がとうとうと流れる吉野川であったり、それがもう1回復元するか、それが常にある、そういう水を連想したんです。雨水を使うとかそういうことではなく、綺麗な水が常にある川を再現する、残せる、そういうことを思いました。

#### (事務局)

そちらの飲む水とか自然の良さとしての水はブランド化のところで、例えば吉野川の水をもっと県内・県外に売り出していくようにしていくとかそういったあたりで書き込んだつもりです。

これとは別に委員がおっしゃっていただいたのは、水の資源としての循環利用というか、1回だけで捨ててしまうのはもったいないという部分もあるということ。先程の答えの中で2つあると最初に言いかけたのは、1つは飲み水とか自然の美しさをかもし出す水というアプローチの仕方と、いろいろな物を循環利用という中で雨水利用などを活用していく観点と2つあるのかなと。1つ

目についてはブランド化という中で、1つの例として水に焦点を当てる。例えば吉野川が育んだ水に焦点を当てて、そういったものを掘り起こして県内でもどうPRしていくか、県外にもどうPRしていくかという観点かなと考えました。後の循環利用としての水、1回だけで捨ててしまうのはどうかという観点については、前の方に出せてなかったなので、その部分を今回、新たに出してよいかと考えられています。

### (委員)

全体の中身としては違うのですが、やはり環境基本計画というのは行政の取組を決めていくことと、県民に対して広く共に進めていきましょうよという広報という大きな意味合いがあると思います。そうすると先程、委員が言われたように5年間で県民がどういうふうに行動を起こしていくかということを考えていくと、この基本計画はそれなりにガッチリしたものが必要だと思うのです。行政側としても。それ以外にプラス県民行動を起こしていく、もう少しわかりやすく噛み砕いて、この基本計画の中からこういうことをやりましょうという、わかりやすい資料があると思うのです。パンフレットみたいなものが。それがあって、すごく県の環境アドバイザーとか、環境を広報していく役割の方もたくさんいらっしゃいますし、NPO団体もたくさんあるので、そういうところに広めていってさらに県民の方に大きく広報していく手立てを持っていると思うので、そういうところを活用しつつ、広く広報していくことが大事だと思います。そういう意味では、予算の関係もあると思いますが、県民向けの資料、パンフレットをわかりやすく噛み砕いて、これこれを5年間みんなで作ろうねというのを作っていないといけないのではないかと思います。なかなか、この冊子を誰が読むのということになるのですよね。パンフレットを読んだ人が関心あったら、基本計画の冊子を読んで下さいというようなことにしていないと、これまでの経験から広げていくのは難しいと思いますので、是非そういうことも検討していただきたいと思います。

### (事務局)

おっしゃる部分、非常に大事だろうなと思います。いろんな反省もあって、せつかく作ってそれは倉庫にしまっておいてという感じにならないようにというのが一番気をつけないといけないという所があります。今回は基本計画の中間報告ということで、とりまとめさせていただいて、できれば年内ぐらいには、とりまとめをして、とにかく早くこういったものができたところを県民のみなさんにもPRをしていかなければと考えています。そういう中で委員がおっしゃるように、いろんなツール、こういったものができるかというのは予算の方の話もありますので、どこまでできるかというところはありますが、いろんなフォーラムを通じてPRする方法もありますし、もちろんわかりやすいチラシなど、そういうふうなものを作っているいろんな所で見てもらう方法もあると思います。私たちとしたらできるだけ本体も誰が見るかにならないようなものにしたいたいなと思っているのですが、そういったところも含め非常に大事な

部分だろうと思います。どういうふうな媒体を利用して、どうすれば良いのか十分考えていきたいと思っています。

#### (委員)

この計画の総合的な進捗状況管理を行うということは、各分野計画で設定した数値目標かなと思うのですが、県の環境基本計を中心にして個別計画っていっぱいあると思うのです。その計画が、まず身近な5年間の取組目標のどれがどれにあたるか考えていたのですが、すごく重なり合っている部分があると思います。だから総合的な環境基本計画になると思うのですが、5年間の取組目標を立てて実際に取り組んでどうであったかというのは調べておく、まとめておくことが大事だと思うのですが、この計画とこの計画、どれとどれを合わせてこれっていうのが絶対でくるような気がします。それをまとめて総合的にするのが環境基本計画だと感じています。5年間の取組目標と掲げて、わかりやすい言葉で示していただいています、結果は具体的にこの目標に対してこうであったという数値目標を複合的な計画のまとめ上げたものを作ってみたら取り組みやすいのかなと感じました。

#### (事務局)

もちろん個別計画の上で全体の管理をしていくということで、個別計画の目標自体、ちょっと切り口を変えて計画に基づいた柱立てでまとめて、表にしてまとめていくとかですね。そういった方策が必ず必要と考えています。ただ気になるのは、個別計画は個別計画、それぞれPDCAサイクルで管理していると、その上にまた基本計画で同じような操作をやり過ぎると、同じことを2回するみたいな形になってもいけないというところもありますので、おっしゃるとおり基本計画に基づいた個別計画を作りたいなと思っています。2度同じようなことをしないように考えながら作っていきたいと思います。ちょっと時間がかかるかなと正直思っています。ただ計画の最終とりまとめまでには、こういうふうなとりまとめで整理しましたというものを作っておかなければと考えています。

#### (委員)

それを考えた1つの理由ですが、アンケート調査の結果、ここ5年間で重点的に取り組むべきと考えられる環境分野だったと思うのです。資料3の5ページで「1 環境教育・環境学習の推進」の回答割合 44.7%、半数近くあったというのは重要であると感じています。また、計画の基本コンセプトという中で、4の「環境人材の育成と活用」をあげていただいて、「5年間の取組目標」のところでも、6の「人が主役の環境保全・創造」でも具体的に書いていただいていると思います。どの計画でもすべて温暖化推進員とか、森づくりリーダーなどがいろいろな取組を行っていることを感じてきているので、それを総合的にまとめあげて、どのように育成していくか、育成するだけでなく活用して広めていくのがすごく大事になってくるので、そういうのは環境基本計画で

作っていただければ、内容も広報できるし、実践も伴うのではないのかなと思います。それと県の計画なのですけれども、それを実践するにあたっての市町村の役割ということで、その市町村で取り組むにはどういうところが関係してくるかということも、別のところで総合的に見ながら市町村がやっていることもあると思うので、入れていただいて、うまく県で運用していただけたらなと感じています。

#### (事務局)

おっしゃるとおり、人材の部分はいろいろな分野でいろいろな方が活動されていますし、いろいろな人材育成の取組もされています。そういったところを環境基本計画の方で、全体を把握して、いろいろな方、力を持たれている方がいますから、その方が活躍できる場をもっと作れないかということが基本計画で一番書きたかったところなのです。おっしゃるように市町村の役割も非常に大事になってくるかと思しますので、市町村とできるだけ連携して、施策についても活用できるような形で進めていけるようにしていきたいと思えます。

#### (部会長)

他にないでしょうか。よろしいでしょうか。

小委員会でも深く議論したのですが、ここまでのまとめについては1か月ぐらいで事務局ががんばっていただきました。それで、みなさんにいただいた意見を反映して、より良い計画を12月までに作っていただきます。そこに至るまでの過程・手順はあとで説明していただきますが、みなさんご意見はよろしいでしょうか。大事な意見をいただいたと思います。みなさんの意見を反映しながら進めるということにさせていただきたいと思えます。また小委員会の方でまとめさせていただくという方向でよろしいでしょうか。

#### (事務局)

意見をいろいろありがとうございました。今後の進め方ですけれども、中間とりまとめということで、9月議会の方にも報告をして、そちらの方からもいろいろな意見をいただいてとりまとめていきたいと考えています。今、いろいろな意見をいただきました。もちろん、直せる部分というのは修正を加えて出させていたいただきたいのですけれども、他の意見も踏まえた上で見直しをかけなくてはいけない部分もありますので、今回の部分をベースとして中間とりまとめとさせていただいて、議会の方からの意見とかパブリックコメントもしていかななくてはいけないと思っていますので、そういった意見も踏まえて最終全体的に整理する部分もあろうかと思えます。直せるところは直すということで、微修正をさせていただいて、一旦、中間とりまとめということで区切りとさせていただけたらと考えています。

#### (部会長)

そうしたら12月に向けてということで、事務局が説明してくれました経緯

でいきたいと思います。

**(事務局)**

資料7により、パブリックコメント実施についての説明。

**(部会長)**

それでは、その他ということで事務局からお願いします。

**(事務局)**

今後のスケジュールについて説明。

**(部会長)**

何かございませんか。用意していました議題はこれで終了ですが、特にご意見がなければこれで終わりにしたいと思います。

**(事務局)**

閉会の連絡

**(市原環境首都課長)**

あいさつ